

北陸地方整備局
松本砂防事務所
記者発表

発表日時
平成26年7月16日
配布をもって解禁

高瀬渓谷フェスティバルで土砂災害を学ぶ

—砂防公開セミナーを開催します—

松本砂防事務所は平成26年7月19日（土）に、長野県大町市の大町ダムで開催される高瀬渓谷フェスティバル2014会場で、土砂災害や砂防事業について理解を深めていただくことを目的として、土石流の模擬体験などができる砂防公開セミナーを開催します。

高瀬川流域の直轄砂防事業は、昭和23年に鹿島川において開始され、その後、昭和27年に高瀬川で、昭和41年からは箆川でも工事が行われています。

高瀬川の流域は、大部分が風化しやすい花崗岩類で占められ、しかも水源部の山稜は露出岩が分布。錯綜する断層の影響も受け、山腹崩壊が進んでいます。また、温泉作用による溪岸侵食が各所でみられ、降雨のたびに膨大な量の土砂を生産・流出し、土砂災害の危険性がある流域です。

そこで、土砂災害の危険性や災害のまえばれ、避難の大切さを認識し、また、砂防事業について理解を深めていただくため、模型による土石流対策の実演、砂防パネル展示、土石流の模擬体験ができる砂防公開セミナーを開催するものです。

- 1. 日時： 平成26年 7月 19日（土）9：00～15：00
- 2. 場所： 大町ダム（長野県大町市）
- 3. 内容： 模型による土石流対策の実演、パネル展、
立体映像による土石流模擬体験

※高瀬渓谷フェスティバルは、「森と湖に親しむ旬間」の一環として、ダム湖や森林の持つ自然の魅力とその役割への理解を深め、心身をリフレッシュしてもらうために開催されます。



模型による土石流対策の実演



立体映像による土石流模擬体験



パネル展示

—配布先—
松本市政記者クラブ
大町市政記者クラブ
その他専門紙

お問合先
北陸地方整備局 松本砂防事務所
電話（0263）33-1115（代表）
（事）副所長 渡辺 政信（内線202）
総務課長 村岡 浩二（内線211）